

平成 29 年 5 月 17 日

関係機関 各位

市立三次中央病院  
緩和ケアセンター

緩和ケア研修会(ご案内)

平素は、当院の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。  
当院では緩和ケアセンター主催の研修会を年間シリーズで開催しております。  
今回は、29 年度「第 2 回」「第 3 回」の研修会をご案内申し上げます。

平成 29 年度 第 2 回 緩和ケアセンター主催 年間シリーズ研修会 (通算 13 回)

演題：不眠・せん妄治療の基本レシピ

—重症度別の最適処方指針—

日時：平成 29 年 5 月 29 日(月) 18:00～19:00

場所：市立三次中央病院 健診センター大講堂

講師：市立三次中央病院 緩和ケア内科医長  
佐伯 俊成 先生

平成 29 年度 第 3 回 緩和ケアセンター主催 年間シリーズ研修会 (通算 14 回)

演題：患者・家族を支えるコミュニケーション技術の要点

日時：平成 29 年 6 月 12 日(月) 18:00～19:00

場所：市立三次中央病院 健診センター大講堂

講師：市立三次中央病院 緩和ケア内科医長  
佐伯 俊成 先生

大変お忙しいとは思いますが、多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

申込締切、申込方法は別紙参加申込書をご覧の上、記入していただき、下記まで FAX、または郵送にてお申し込みください。

—問合せ・申込先—

〒 728-8502 三次市東酒屋町 531 番地  
市立三次中央病院 緩和ケアセンター  
担当：新谷 ひとみ

TEL：(0824)65-0101

FAX：(0824)65-0159



市立三次中央病院 緩和ケアセンター主催  
年間シリーズ研修会②《通算第13回》

●日時：平成29年5月29日（月）  
18:00～19:00

●会場：市立三次中央病院  
健診センター2階 講堂

●演題

不眠・せん妄治療の基本レシピ  
—重症度別の最適処方指針—

★患者さんが不眠あるいはせん妄（錯乱・混乱）になると、ご家族はもちろん、スタッフも対応に苦慮することが少なくありません。これらは臨床的にはあくまで連続した病態と捉えるべきであり、当院で多大な成果を収めている過度の鎮静をきたさない薬物治療のコツ、特に睡眠薬の賢い利用法について詳しく解説します。

市立三次中央病院 緩和ケアセンター長  
緩和ケア内科医長・緩和ケアチーム専従精神科医  
佐伯 俊成

<講師略歴>

佐伯 俊成（さえき としなり）：

昭和60年広島大学精神科入局。JA吉田総合病院、広島市民病院、中国労災病院、安佐市民病院、東京都立墨東病院精神科を経て、平成8年から広島大学医学部附属病院精神科助手。平成10年同医局長。平成14年同講師。平成16年広島大学病院総合診療科准教授。平成25年4月から現職。平成28年10月から緩和ケアセンター長兼務。外来・入院緩和ケアに加え、最近は在宅緩和ケア（往診・在宅看取り）にも取り組みを広げている。

厚生労働省精神保健指定医、日本心身医学会心身医療認定医、日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学指導医・専門医。



## 緩和ケアセンター主催研修会申込用紙

日時：平成 29 年 5 月 29 日(月)18：00～19：00  
会場：市立三次中央病院 健診センター 2階 講堂  
演題：不眠・せん妄治療の基本レシピ  
—重症度別の最適処方指針—  
講師：市立三次中央病院 緩和ケア内科医長  
佐伯 俊成 先生

施設名			
連絡先	Tel：	担当者：	
申込者：			
氏名		氏名	
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	

FAX または郵送でお申し込みください

〒 728-8502

三次市東酒屋町 531 番地

FAX：(0824) 65-0159

締切は 5 月 26 日(金)です。

(緩和ケアセンター 新谷)



## 市立三次中央病院 緩和ケアセンター主催 年間シリーズ研修会③《通算第14回》

- 日時：平成29年6月12日（月）  
18:00～19:00
- 会場：市立三次中央病院  
健診センター2階 講堂

- 演題

### 患者・家族を支える コミュニケーション技術の要点

★医療・看護・介護・福祉サービスは対人援助の最たるものであり、その根幹はコミュニケーション（意思疎通）であることに異論のある向きはないでしょう。同じ事実でも伝えられ方によって相手の抱く印象が全く異なってしまうのは自明のことです。しかしながら、現場における患者・家族とのコミュニケーションはスタッフ各々の裁量に委ねられており、そのほとんどは自らの経験から導かれた我流にすぎません。医療従事者なら必ず知っておくべきコミュニケーション技術として基本中の基本である『上手な聴き方の五原則』と『積極的に聴くための5つのコツ』に加え、『影響力の7か条』についても概説します。

市立三次中央病院 緩和ケアセンター長  
緩和ケア内科医長・緩和ケアチーム専従精神科医  
佐伯 俊成

#### <講師略歴>

佐伯 俊成(さえき としなり)：

昭和60年広島大学精神科入局。JA吉田総合病院、広島市民病院、中国労災病院、安佐市民病院、東京都立墨東病院精神科を経て、平成8年から広島大学医学部附属病院精神科助手。平成10年同医局長。平成14年同講師。平成16年広島大学病院総合診療科准教授。平成25年4月から現職。平成28年10月から緩和ケアセンター長兼務。外来・入院緩和ケアに加え、最近は在宅緩和ケア（往診・在宅看取り）にも取り組みを広げている。

厚生労働省精神保健指定医、日本心身医学会心身医療認定医、日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学指導医・専門医。



## 緩和ケアセンター主催研修会申込用紙

日時：平成 29 年 6 月 12 日(月)18:00~19:00

会場：市立三次中央病院 健診センター 2階 講堂

演題：患者・家族を支えるコミュニケーション技術の要点

講師：市立三次中央病院 緩和ケア内科医長

佐伯 俊成 先生

施設名			
連絡先	Tel :	担当者 :	
申込者 :			
	氏名		氏名
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	

FAX または郵送でお申し込みください

〒 728-8502

三次市東酒屋町 531 番地

FAX : (0824) 65-0159

締切は 6 月 9 日(金)です。

(緩和ケアセンター 新谷)